省点はないか。県と市の見解の違いが

質問市の説明会、学習会について反

震災瓦れきの広

の

について)

いてどう考えるか。最終処分地の問題 大きい。低線量被曝晩発性障がいにつ

する敬意について

ビス未利用者に対

和紙を使い、書はシルバ

がに委託

見は聞くのか。

質問 地域振興などと併せて大谷地







外資による森林買収の 防御について

か。森林法の改正による効果はどう 答弁 水道水の保護という中で水道 森林資源、水資源をどう守る

く様子を見たい。法改正により届出企業団として条例の制定は、しばら 義務が必要となり、その周知を続け

さと祭り会場の復旧はどうか。 流域の来春の作付け、 ◎ 五十嵐川、鹿熊川の災害復旧計 しただふる

等について

害復旧と今後の計

でに災害前と同規模で復旧の予定である。祭り会場は今年の開催日まね、残り3 hは26年作付けの見込み は全箇所工事発注済み。来春は24 答弁 江口、田屋は今年度中に改修 事に着手、曲谷から落合にかけて



し感謝状で表してはどうか。

答弁具体的に検討したい。

•

•

影響が出ている。周辺住民への配慮は とうなっているのか。 問 工事中地震のような揺れが連 、土埃で洗濯物も干せないなど、

> 進と農業の振興に関する条例を作 緩和も求められる。三条市は食育の推

Ŋ

も参入でき、安全基準、食品添加物の

質問 TPPは外国企業が学校給食に

TPPにおける食育と地産地消について

であればパブリックコメントも検討

答弁現在計画を協議中

。今後必要

していく。

食育に力を入れてきたが、T

·PPに参

への配慮等について

事の周辺住民

辺整備後は金属製のフェンスを設置徹底し、土埃は散水車等で対応。周 総務課に置く。 する。苦情問い合わせの窓口は教育 ダンプなど通過の際は徐行を

すべきではないか。

なくなる。TPP参加への反対を表明 加すると地産地消の学校給食も守れ

豪雨災害復旧現場(鹿熊川)



小中一体校建設工事現場

(三条市農業の現状と課題について)

が揺らぐものではない。

農産物を使用し地産地消を進めて

外国産が入ってきても、三条

いく。TPP参加によってその姿勢

はどうか。 度産米の作付動向についての取り組み 全事業と地域農政プランおよび24年 を超える意義を持つ。農地・水・環境保 生命産業たる農業は経済価値

行っている。食育を通じた地産地消 から流通へと拡大し、広い意味での 良いところのアピー 良いところのアピール、見える化を答弁 活性化プランで地域農業の

通学路の安全対策について

見解はどうか。 質問スクー ーンベルトの設置、ゾ ルバスの利用を再度見直 ーン30 の

携して対応していきたい。 通学路の把握に努め、関係機関と連 答弁 地域の状況を勘案しながら

る てきたが単価調整もあり追加配分 生産調整の県間調整はその都度募っ 組みを予定して協議を進めている。 調整はおおむね協力が得られてい に至っていない。下田地域の集落間 マスタープランは集落単位の取り

> を受けた時の市長の責任と覚悟につい 梁、水質汚染など放射能による不利益

市

三条市完直

か市長の務めである。数年後に土壌汚

質問)市民の生命と財産を守ること

震災瓦れきの受け入れについて

年間で、対象面積が増加となる。

処分地のデ

夕公開と水質検査は

これから追加していく。

会

スクの確率は証明することが困難。

めに行ってきた。低線量の発がんり

答弁 正しい知見で冷静な判断のた

0

保全管理事業は28年度までの5

ブランドの推進につなげる。

点はどうか。

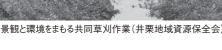






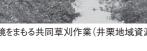
ういう思いを持っているかは、形で

答弁。震災廃棄物について市民がど



か必要だと思うが考えを聞く。

説明会を開き、市長自ら説明すること 氏の不安の払拭のために市民対象の **C聞く。市民の声を聞く場がない。**





民と向き合い進めていく

とってきた。不安の払拭のために市 はないが自分なりに空気感を感じ

中心市街地活性化について

•

•

• •

あ

らい



択となったがその影響はどうか。

には職員人件費等は含まれていない。 23年度決算で約1 元旦マラソンはなぜ無料なの -66万円。これ

増加につながっている。 答弁 より大勢参加してもらうため に無料にしている。それが参加数の

> 開講の狙いは何か。 空き店舗対策の効果と創業塾

等は注目され、取り組みを市内外にに参加している。三条ツアーマップ地活性化に関するさまざまな活動 PRできた。単なる出店以外に十分 者を講師に創業への指導を行う。既 貢献いただいている。創業塾は、中 いきたい う多くの市民との相乗効果を図って 地元に愛される店づくり、そこに集 業、出店、出店後の|連の支援で長く 存出店者には個別相談を実施し、創 小企業診断士、金融機関、先輩創業 答弁 空き店舗事業者が中心市街

平成24年元旦マラソン大会



コンパクトストアまごころ

状況はどうなっているのか。住民の意どについて、開校準備委員会での協議

質問)通学バス、児童クラブ、太鼓な

まざまな意見交換をしていきたい

している。今後の改善策はさ